

宍粟市の台所事情と わかりやすい今年の仕事

平成31年度予算説明



はじめに

宍粟市では、平成 30 年 7 月豪雨により随所で甚大な被害が発生し、現在も市内の道路、河川、農林業施設等の災害復旧作業に取り組んでいますが、復旧には時間を要するため、平成 31（2019）年度においても、早期復旧のため災害復旧を最優先とするとともに、防災・減災のための対策を講じていきます。

また、このような中でも、「平成 32（2020）年度末人口 3 万 7 千人」の堅持のため、地域創生総合戦略の重点化方針である「住まい環境づくり・彩と生業づくり・生活圏の拠点づくり」のもと、子育て環境の充実や雇用の促進を推し進め、多岐にわたる事業を相互に連携させ相乗効果を図ることとで、地域の魅力を活かし、市民が主体となる活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

宍粟市長

福元晶三

平成31年度 予算の概要

1. 一般会計の予算規模

平成31年度当初予算 250億2,000万円

〈 対前年度当初予算比 +10.8億円 +4.5% 〉

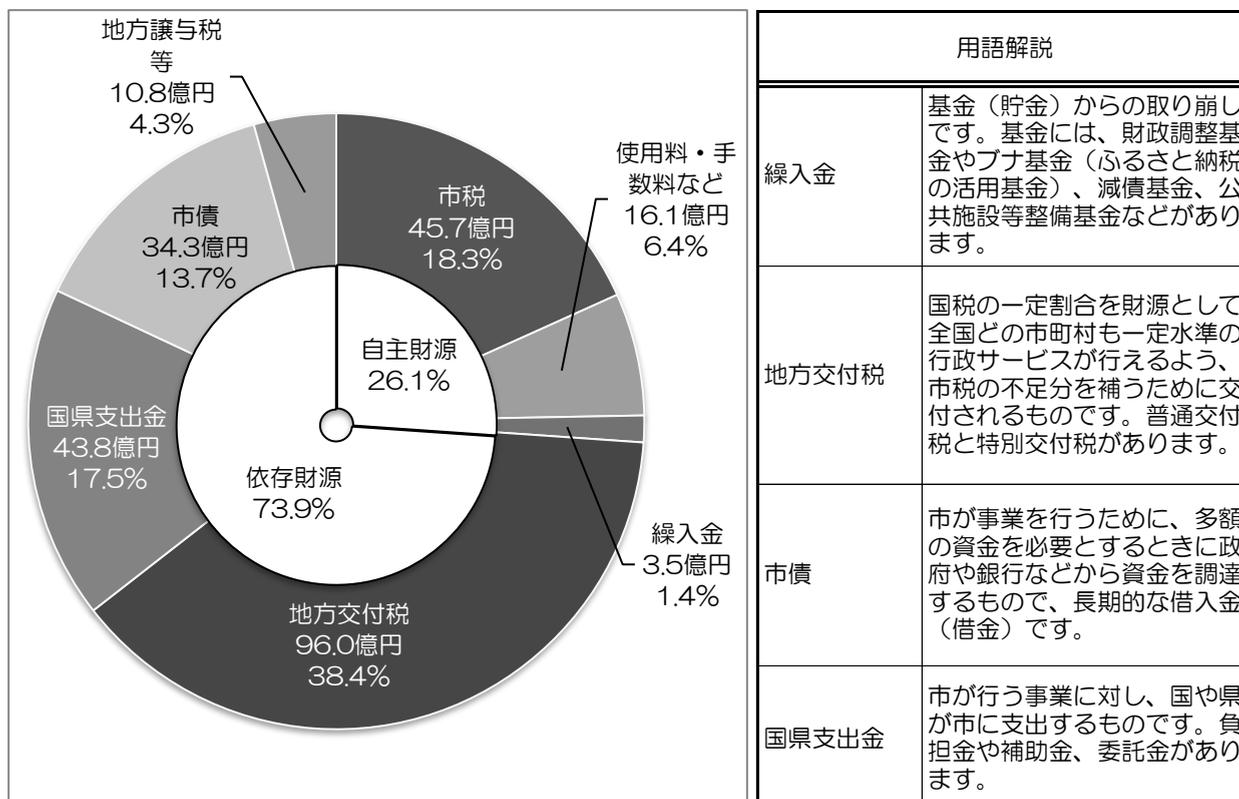
平成31年度中央市全会計予算

(単位：千円、%)

区分	31年度 予算額 A	30年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100	
一般会計	25,020,000	23,940,000	1,080,000	4.5	
特別会計	国民健康保険事業	4,514,896	4,359,567	155,329	3.6
	国民健康保険診療所	207,848	237,493	△ 29,645	△ 12.5
	後期高齢者医療事業	553,743	533,031	20,712	3.9
	介護保険事業	4,827,486	4,759,251	68,235	1.4
	訪問看護事業	43,937	41,256	2,681	6.5
	下水道事業	2,681,514	1,873,359	808,155	43.1
	農業集落排水事業	1,084,436	1,022,643	61,793	6.0
	小計	13,913,860	12,826,600	1,087,260	8.5
企業会計	水道事業	2,485,846	2,518,596	△ 32,750	△ 1.3
	病院事業	4,633,361	4,575,872	57,489	1.3
	農業共済事業	94,210	108,522	△ 14,312	△ 13.2
	小計	7,213,417	7,202,990	10,427	0.1
合計	46,147,277	43,969,590	2,177,687	5.0	

※企業会計の額は収益的支出+資本的支出の合計額

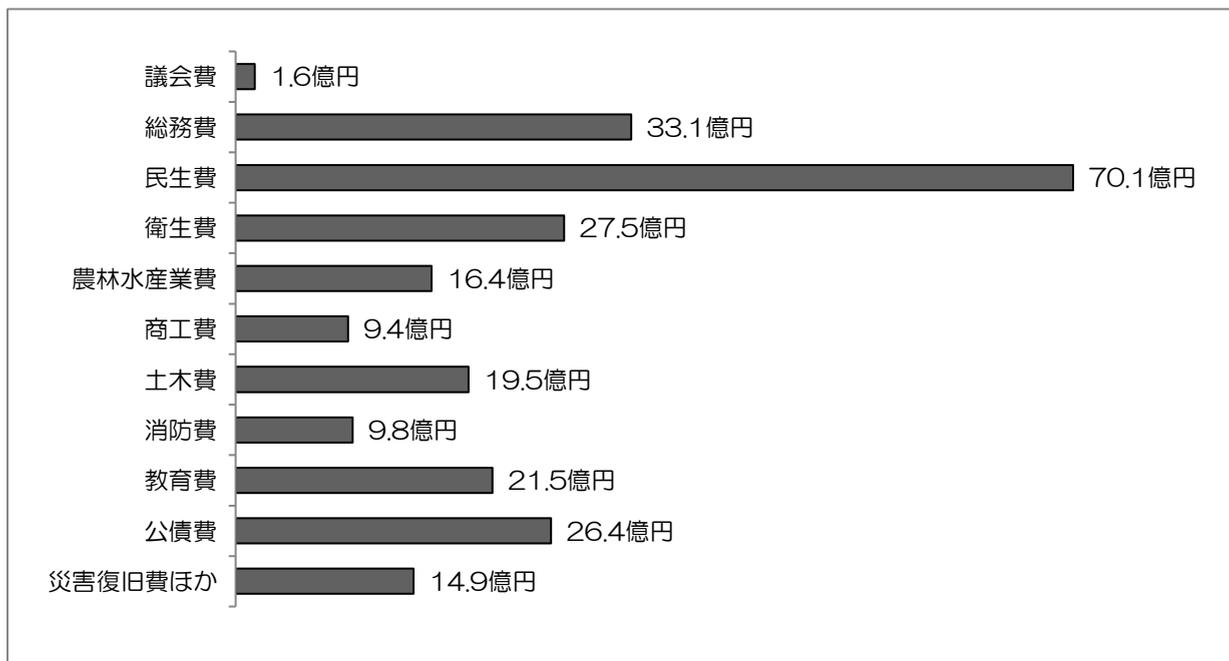
2. 一般会計歳入予算



用語解説	
繰入金	基金（貯金）からの取り崩しです。基金には、財政調整基金やプナ基金（ふるさと納税の活用基金）、減債基金、公共施設等整備基金などがあります。
地方交付税	国税の一定割合を財源として全国どの市町村も一定水準の行政サービスが行えるよう、市税の不足分を補うために交付されるものです。普通交付税と特別交付税があります。
市債	市が事業を行うために、多額の資金を必要とするときに政府や銀行などから資金を調達するもので、長期的な借入金（借金）です。
国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が市に支出するものです。負担金や補助金、委託金があります。

3. 一般会計歳出予算

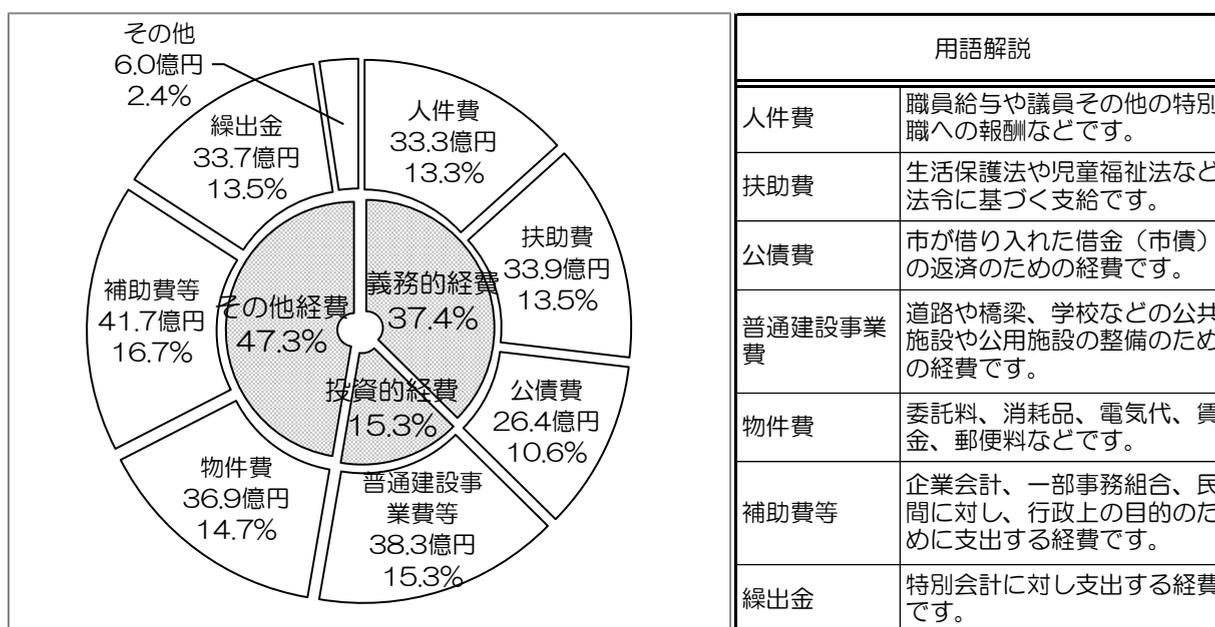
【目的別】(法令で定める予算の科目別区分)



主な歳出（目的別）の状況

- ・ 市民1人当たりの支出額は約66万円です。
- ・ 民生費が一番多く、予算の約28%を占めています。

【性質別】(財政体質を分析するため、国の統計等で用いる区分)



主な歳出（性質別）の状況

- ・ 義務的経費は歳出全体の37.4%を占めています。
- ・ 投資的経費の市民1人当たりの額は、約10万円です。
- ・ その他経費のうち、補助費等には地方バス対策など各種補助金、水道や病院などへの支出が含まれます。

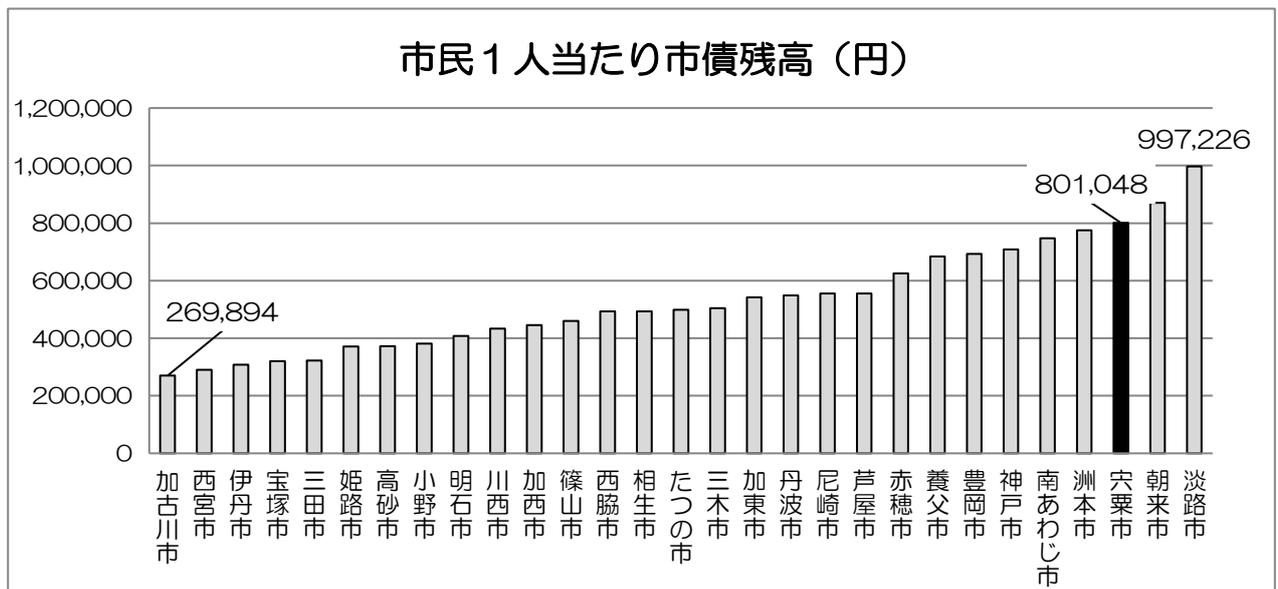
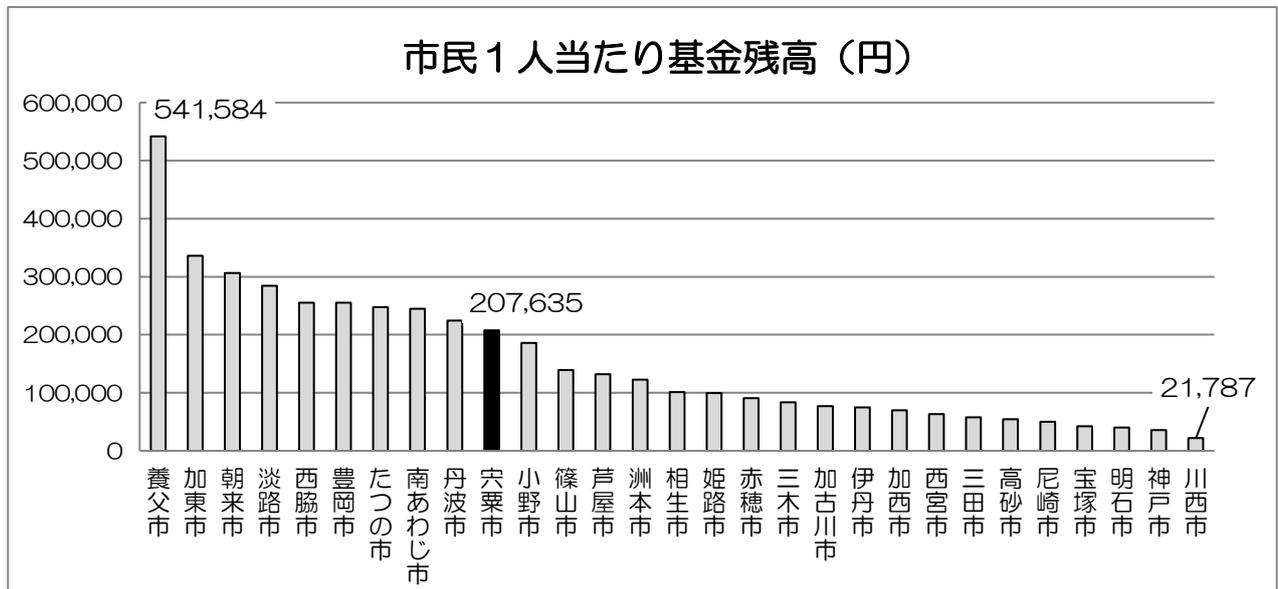
★市民1人当たりの「貯金」と「借金」の残高（平成29年度決算）

- ・基金（貯金）残高は207,635円/人
- ・市債（借金）残高は801,048円/人

※基金残高、市債残高は普通会計ベース、1人当たりの数値はH27国勢調査人口で算出

基金は、災害などの急な財政需要や収入減に備えたり、ある特定の目的のために積み立てたりしておく貯金です。

市債は、建設事業を実施する場合に一度に多額の資金が必要になるため借り入れる借金のことで、現世代と将来世代で経費を平等に負担するという考え方も含んでいます。また、市債（借金）は、国がその返済費用の一部を普通交付税として配分してくれる有利なものを選んで発行しています。



★ 人件費と職員数の推移

人件費 ～ 33億3,086万円 (一般会計：平成31年度予算)

(平成30年度予算：32億4,312万円) ～

市長、副市長、教育長、職員の給与のほか、議員報酬や、農業委員会委員、教育委員会委員、消防団員等の報酬を含んだ人件費です。

人件費については、特別会計と一般会計との人員の見直しや認定こども園開設による人員増、また、負担金率の改正により、前年度と比較すると8,774万円増加する見込みです。

◎新規採用職員の初任給 (一般職) (平成31年4月現在)

高校	15万3,000円	大学	18万700円
----	-----------	----	---------

◎職員1人あたりの平均給与月額 (一般会計：一般職分) (平成31年1月現在)

職員の平均年齢 43歳1か月

平均給料月額 31万908円

平均給与月額 (※) 38万4,157円

※給与とは、給料に扶養手当、時間外勤務手当などの手当を加えて算出したものです。

◎特別職等の給料等

主な特別職等の給料・議員報酬は、次のとおりです。

市長	88万円	議長	44万8,000円
副市長	71万2,000円	副議長	37万円
教育長	63万8,000円	議員	34万6,000円

◎これまでの職員数と人件費の状況

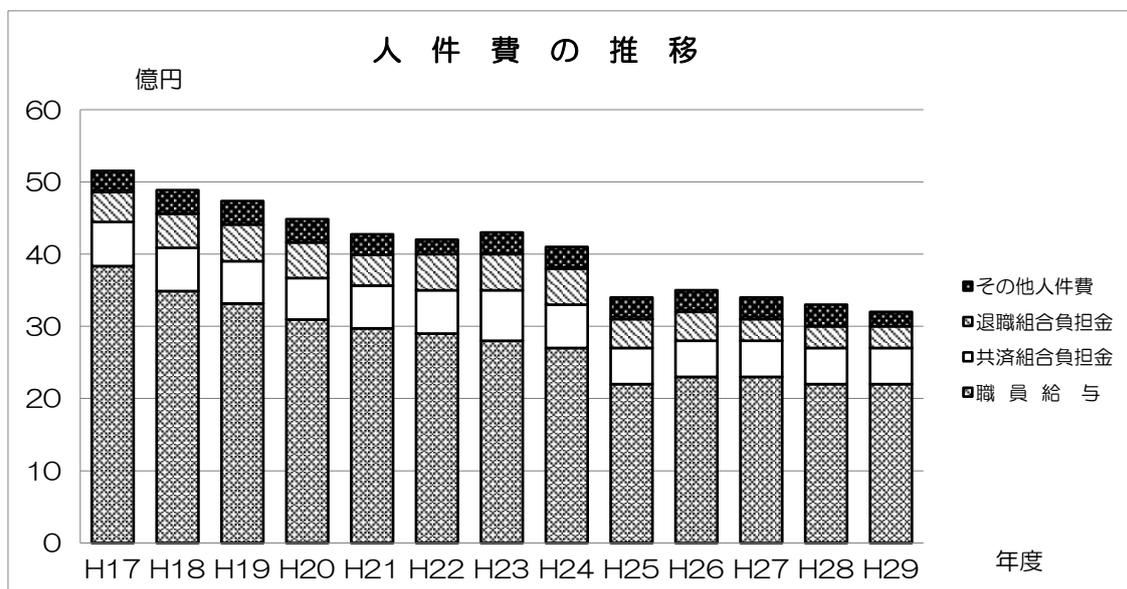
① 職員数の推移 (平成31年4月1日現在、公営企業、任期付職員等を含む)

(単位：人)

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
職員数	790	787	751	718	696	696	680	663	663	658	662	660	664	664	672

② 人件費の推移 (決算統計資料より)

平成29年度の人件費総額は32億7,453万円で、前年度比3,330万円減です。



地域創生総合戦略アクションプランに基づく主な事業

『森林から創まる住まい環境づくり』

～子育て応援・定住促進のための住環境整備～

(1) 住環境整備の推進

(単位：千円)

事業名	事業費	区分	事業概要
東京圏在住者移住支援事業	2,000	新規	東京圏からのUJIターン希望者がマッチングサイトを活用して中小企業等に採用され、市内に移住する場合に、移住支援金として最大100万円を支給する。
移住・定住支援事業	6,152	継続	穴粟市への移住・定住を促進するため、空き家バンクを通じた情報提供やサポート体制の整備、定住コーディネーターの配置等を引き続き行うことにより、定住・交流人口の増加、まちの賑わい創出をめざす取組を推進する。
空き家等対策計画策定事業	662	新規	市の空き家等に関する対策の基本的な方針を示し、総合的かつ計画的に空き家対策を推進していく。※移住・定住支援事業 ・空き家等対策推進協議会設置 ・空き家所有者意向調査
森林の家づくり応援事業	35,000	継続	住宅の取得等費用を助成することにより、市外からの転入を促進し、及び市外への転出を抑制し、人口の増加と活力ある地域づくりを推進するとともに、地域経済の活性化のため木材需要の拡大と木材関連産業の振興を図る。
耳鼻咽喉科開業医誘致事業	15,000	新規	市内に耳鼻咽喉科の診療所を開設する医師に対して開設に係る費用を助成することにより、地域の医療体制の安定確保と子育て世代の安心を図る。

(2) 子育て支援の取組

① 子育て環境の整備

(単位：千円)

事業名	事業費	区分	事業概要
高校生世代までの医療費助成事業	219,021	拡充	高校生世代の子どもまで医療費助成を拡大することで、子育て世帯を経済的に支援し、必要な時に必要な医療を受けることができる環境を整える。

事業名	事業費	区分	事業概要
木育・ウッドスタート事業	10,656	拡充	<p>地域材で作られた木のおもちゃの贈呈や木と触れ合う機会を創出するとともに、教育や子育てに木育を取り入れ、子どもの感性や創造力を育みながら森や木への関心を高める。また、子どもをはじめとして多くの市民が森や木との関わりを深める契機として、木育やその取組に関する情報発信を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生祝い品として木のおもちゃの贈呈 ・木育インストラクターの養成 ・木育プログラムによる幼児教育・保育の実施 ・森林学習（森林から創まる教育活動に関する事業）の実施 ・木育に関する情報誌の発行 <p>※森林環境譲与税活用事業</p>
子ども・子育て支援事業計画策定事業	2,192	継続	<p>教育・保育の提供体制の確保や地域の子ども・子育て支援の充実を総合的に推進していくことを目的として、「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定する。</p>
病児・病後児保育事業	14,400	新規	<p>病気やけがのため集団保育・教育を受けることができない児童を一時的に預かる場所を確保し、保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の福祉の向上を図る。</p>
子育て世代包括支援事業	7,079	継続	<p>産前から出産、産後、子育て支援の充実を図るため、子育て世代包括支援センター事業、しーたん広場事業、産後ケア事業、乳房ケア事業、産前産後サポート事業を実施する。</p>
幼保一元化推進事業	486,641	継続	<p>一宮南中学校区において、認定こども園を建設し、平成32（2020）年4月開園をめざす。</p>
第3子以降給食費助成事業	15,905	継続	<p>小学生から高校生までの間に3人以上子どもがいる世帯で、第3子以降の子どもが小学校・中学校に在籍する世帯に対し、第3子以降の生徒・児童の給食費を無料とすることで、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進する。</p>

② 学校教育の充実

(単位)

事業名	事業費	区分	事業概要
生き生き部活動総合支援事業	5,096	新規	<p>部活動外部指導者の導入を促進し、部活動指導体制の充実と教員が子どもと向き合える時間の確保を図る。</p>
しそ学校生き生きプロジェクト事業	9,500	拡充	<p>「しそ学校生き生きプロジェクト事業」の中に「森林から創まる教育活動に関する事業」を新設し、「木育」の一環として、宍粟の森林とその森林が育む清流、これら豊かな自然環境が生み出す多様な生き物たちを愛する子どもたちの育ちを多方面にわたって支援する。</p> <p>※森林環境譲与税活用事業 ※木育・ウッドスタート事業にある森林学習を含む。</p>

事業名	事業費	区分	事業概要
社会科副読本「わたしたちの穴栗」改訂事業	2,578	継続	地域内の教育資源を整理し、小学校4、5、6年生を対象に再構成した副読本を使用した授業を展開し、「ふるさと穴栗」への愛情・愛着を育む。
プロから学ぶ創造力育成事業	200	継続	国内外で高い評価やシェアを得ている企業の技術者や世界の第一線で活躍する兵庫ゆかりのクリエイターを迎え、中学生を対象に、制作過程に触れる講話・実演などにより生徒の感性を働かせ、新たなアイデアを生む力を身に付ける機会を創出する。 ※市内2中学校で実施。(H29→2中学校、H30→3中学校)
特別活動を要としたキャリア教育実践研究事業	240	継続	特別活動を要とした児童生徒一人ひとりのキャリア形成と自立に向け、子どもたちの良さを多面的・総合的に評価する方法等、特別活動における評価の在り方を研究するモデル事業を実施する。 ※市内1中学校区についてモデル的に取り組む。
放課後補充学習等推進事業	6,300	拡充	全国学力・学習状況調査結果の分析・検証に基づき、学力向上に向け、希望する小学校が提案する方法により、地域人材を活用した放課後学習を実施し、家庭学習習慣の定着を図る。 (H30:8校 → H31:12校)
スクールソーシャルワーカー配置事業	4,200	拡充	児童・生徒の置かれた様々な環境の問題について、学校だけでは解決困難なケースについて、社会福祉士など資格を持つスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連絡調整や児童・生徒の置かれた環境への働きかけにより早期解決を図る。 (H30:5校に2名配置 → H31:7校に3名配置)

『森林から創まる彩と生業づくり』

～日本一の風景街道の創造～

(1) 彩づくり

(単位：千円)

事業名	事業費	区分	事業概要
御形の里づくり事業	6,996	継続	一宮北部の活性化と観光の拠点として家原遺跡公園・まほろばの湯を中心に、地域資源を活かした施設や景観などの整備を行い、幼児から高齢者まで幅広く地域間交流の拡大を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・四阿の設置 ・築山づくり ・竹わら工房の改修 ・芝刈り機の購入

事業名	事業費	区分	事業概要
音水湖カヌー競技場整備事業（西日本一のカヌー競技場づくりプロジェクト）	9,878	継続	音水湖カヌー競技場が（公社）日本カヌー連盟公認コースとなったことにより、大会運営がより容易な環境を構築し、継続して選ばれるカヌー競技場となるため、設備等の更新を行う。また、引き続き各種大会に係る運営補助を行う。 ①審判艇：2艇、維持管理和船：2艇 ②カヌースプリントジュニア海外派遣選手最終選考記録会、近畿高校総体、国体近畿ブロック大会、関西学生カヌー選手権大会 等運営補助金
ちくさ高原周辺エリア整備事業	800	新規	ちくさ高原を年間を通じて来客者が訪れる広葉（もみじ）樹の名勝地をめざし、地元自治会が休耕田を活用して育てた広葉樹の苗木を、毎年開催される「ちくさもみじまつり」の協賛イベントとして地域住民と一緒に植樹する。
彩りの森づくり事業	12,100	新規	市民が自主的及び主体的に行う広葉樹等の植樹事業を推進することで、豊かな自然景観の保全と魅力あるふるさとづくりを図る。 ※森林環境譲与税活用事業
穴栗彩りの回廊プロジェクト事業	800	継続	国道・県道沿いの山林や揖保川・千種川の河川沿いなどを花木等で彩り、市全域を魅力のある景観の創出により、市民の郷土愛の醸成を図るため、彩りに必要な樹木苗を育成する。
最上山公園等整備事業	6,346	継続	最上山公園（もみじ山）の整備（モミジ植栽、遊歩道整備、弁天池水質改善等）を進め、交流人口の増加を図る。

（２） 生業づくり

（単位：千円）

事業名	事業費	区分	事業概要
人財カフル活用プラットフォーム推進会議事業	6,200	新規	市、商工会、西兵庫信用金庫で構成する「人財カフル活用プラットフォーム推進会議」において、実践型インターンシップなど地域産業の活性化、人材の育成、呼び込みを図る。
就職・就労活動支援事業	18,446	継続	無料職業紹介所を設置し、ハローワークオンライン情報の活用とともに、市内企業における新規求人の開拓を行い、その情報をもとに求職者への就職相談、職業紹介、就職セミナー、職場見学会、新卒者セミナーを行う。
新規就農・定住促進事業	4,200	継続	市内での定住・新規就農者に対し奨励金として営農継続経費を助成するとともに、農地付住宅を安価に提供する。 また、新規就農をめざし市内での就農前短期研修希望者に対し認定農家での研修を実施する。

事業名	事業費	区分	事業概要
穴栗北みどり農林公社推進事業	2,328	新規	遊休農地対策や担い手・後継者不足などの課題解決のため、(一財)穴栗北みどり農林公社が実施する農地の規模拡大や農業後継者等の人材育成などの事業を支援する。
林業担い手確保事業	18,880	継続	林業事業体が雇用する林業従事者の育成に対する支援や、新規事業体が高額な高性能林業機械の初期投資に必要な経費の一部を支援することで、地域林業の振興に必要な担い手の確保を促進する。 ※森林環境譲与税活用事業
起業家支援事業	10,000	継続	市内で新たに起業する者を支援することにより、地域産業の振興と雇用機会の拡大を図る。
産業立地促進事業	75,970	継続	市内に工場等を設置する事業者に対して課税免除及び土地取得費・償却資産取得費などを助成をすることにより、産業の振興と雇用機会の拡大を図る。

『森林から創まる生活圏の拠点づくり』

～生活圏ネットワークの構築～

(単位：千円)

事業名	事業費	区分	事業概要
生活圏の拠点づくり事業	885,327	継続	市民局周辺を生活圏の拠点と位置づけ、市民にとって暮らしやすいまちづくりを進め、人口流出を抑制する第1のダムとして機能させることで人口減少に歯止めをかける。 ①一宮拠点施設の本体工事に着手、年度末に完成予定 ②千種拠点施設の設計完了後に工事着手 ③波賀生活圏の拠点づくりの実施設計に着手

平成31年度宍粟市役所組織図

《本庁》〒671-2593 宍粟市山崎町中広瀬133番地6 TEL 0790-63-3000(代) E-メール info@city.shiso.lg.jp



“ふるさと宍粟”への想いを届けてください！

「ふるさと納税」受付中

1万円以上の寄付をいただいた方には、寄付の金額に応じた宍粟市の特産品をお贈りします。

詳しくは、「宍粟市 ふるさと納税」で検索していただくか、下のQRコードから申込みサイトをご覧ください。

宍粟市 ふるさと納税



【ふるさとチョイス】



【楽天】



【さとふる】